

環境保全型第一次産業を核とした子ども向け「環境・キャリア授業」の開発とパッケージ化による普及

〒420-0813
静岡県静岡市葵区長沼631
電話:054-264-7170
E-mail:info@machinabiya.com
http://machinabiya.com/



ひろげる助成
3年目
知識の提供・普及啓発



林業家が丸太を切るデモンストレーション

環境キャリア教室の実施	7校
コードモンの発行	2回
今年度計画の達成度	100%
活動の全体目標に対する達成度	100%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

林業家の方々が出張授業にお越しただけの時期が限られていたため、その期間で学校との実施日時の調整を行わなければならなかったこと。

■ 工夫した点

専門家が小学校の学習内容に沿った出張授業を、ワークシートやデモンストレーション等を取り入れて実施したこと。

課題

現在小中学校では、環境保全型第一次産業の意義や仕事の実態について学習する機会や「キャリア教育」で第一次産業が取り上げられることが少ない。

目標

「出張林業教室」に参加した子どもが、環境にかかわる仕事の意義・魅力を感じるようになる。

活動内容と成果

静岡市内の5小学校で、環境認証林を経営しながら都市と山村の環境共生を進める林業家と「出張林業教室」を協働実施した。また、小学6年生に向けては、授業内容の一部をキャリア教育の要素を加えて実施した。さらに、本年度は小学4年生には社会科「水のゆくえ」の単元において、森林と水のつながりの学習として開発・実施した。子ども向け情報紙コードモンでは、牧場を経営しているレストランや市産材を活用した家づくり集団を取り上げ、各回3万部を印刷、市内小中学校や関係機関・図書館等に無償配布した。

全助成期間の活動を振り返って

出張林業教室のパッケージ化を通して、林業の仕事について興味・関心を持つ子どもが増加した(3年目の小学5~6年生のアンケートによると、事前は35%であったが、事後は76%となっていた)。普段はあまり見たことがない林業の仕事を、実際にデモンストレーションやスギ・ヒノキの葉の見比べによって体験的に学習できたことが要因であると考えられる。小学4年生・6年生向けの授業については、今後も改善を重ねていきたい。



林業家が森林の役割を解説



本物のスギ・ヒノキの葉を比べる子どもたち

今後の展望

静岡市森林組合・静岡木材業協同組合よりご支援をいただきながら、次年度へ向けて事業を続けていく。また、その他森林や自然環境にかかわる企業・団体にご支援を求めながら、6年生向け・4年生向け授業の改善なども含めて、事業の継続・発展に努める。さらに、出張林業教室の認知度を上げるため、本団体のホームページやSNS・静岡市教育委員会への紹介等を通して、広報を行っていききたい。